

# 2016 年度立命館学校教育研究会総会・春季大会 報告

## 学校教育研究会総会

2016 年 6 月 12 日（日）午後 1 時～  
挨拶 永井清(立命館教職教育推進機構長)

立命館大学末川会館講義室において、2016 年度立命館学校教育研究会総会を開催いたしました。永井会長（立命館教職教育推進機構長）の開会挨拶の後、佐藤典司事務局長より 2015 年度事業報告と 2016 年度事業計画の提案があり、承認されました。引き続き永井会長より立命館学校教育研究会の運営委員の一部交代についての提案があり、承認されました。



## 講演会

午後 1 時 30 分～  
「学校において国際理解教育にどう取り組むか」  
講師 藤原孝章(同志社女子大学現代社会学部教授)

春季大会講演会は、講師に藤原孝章同志社女子大学現代社会学部教授を迎え、「学校において国際理解教育にどう取り組むか」と題してご講演をいただきました。「国際理解教育はどこまで進んできたのか」ということを主題に、スライドによりわかりやすく講演をいただきました。

戦後ユネスコの加盟から始まった日本の「国際理解教育」の歴史的な変遷についての紹介や、平和や人権を基盤にした国際理解教育から 1990 年代からの「国際化」の進展の中、国際社会の中の日本という意識が強まり、「国際理解教育学会」が設立されたことなどの話がありました。



グローバル人材の育成を唱え英語力の向上や企業競争力だけを念頭に置いた国際理解教育でなく外国人労働やニューカマーの子どもたちへの学力保障や差別や偏見、多文化共生を視野に入れた国際理解教育の重要性が話されました。講演後も多くの質問があり、講師から丁寧な説明を頂きました。講演を聞いた多くの人たちから「たいへん新鮮な感覚をもつことができました」等、ご高評を頂いております。

## 立命館の取り組み報告

午後 3 時～  
森田真樹（教職研究科 教職大学院設置委員会事務局長）

2017 年度開設予定の教職研究科（教職大学院）の開設について、ご報告させていただきました。説明を聞いて「是非詳しいお話を聞きたい」等のご意見を頂戴しております。

## 講師を囲んでの茶話会

講演会終了後の茶話会では、40 名を越える会員、学生が一同に会しました。崎野隆立命館学校教育研究会顧問による乾杯のご挨拶をいただき、講師を囲んで和やかに懇談したり、会員相互で懇親を深めたりと、有意義な時間となりました。